



お知らせします

市の人事行政の運営状況

市職員の給与は、地方自治法や地方公務員法に基づき、市議会の議決を経て定められています。
この公表は、人事行政の運営状況を市民の皆さんにお知らせし、その公平性と透明性を高めることを目的に行うものです。

問い合わせ 総務課職員係（内線 305）

| 特殊勤務手当（平成 17 年度） | | |
|------------------|-----------------|-------------|
| 手当支給職員の割合 | 21.3% | |
| 1人あたり平均支給年額 | 150,554 円 | |
| 手当の種類（手当数） | 15 種 | |
| 代表的な手当 | 手当額の多い手当 | 研究手当、医師手当 |
| | 多くの職員に支給されている手当 | 清掃手当、夜間介護手当 |

| その他の手当 | | | 国の制度 |
|----------------------------|----------------------|------------------|---------|
| 扶養手当 | 配偶者あり | 配偶者なし | 同左 |
| | 配偶者 | 13,000 円 | |
| | 扶養 1 人目（配偶者が扶養でない場合） | 6,000 円（6,500 円） | |
| | 扶養 2 人目 | 6,000 円 | |
| | 3 人目以降 | 5,000 円 | |
| 16 歳～22 歳の扶養親族がいる場合の加算 1 人 | | | 5,000 円 |
| 支給実績 | | 91,157 千円 | 同左 |
| 支給職員 1 人あたり平均支給額 | | 248,384 円 | |
| 住居手当 | 所有する住宅居住者（取得後 5 年以内） | 2,500 円 | 同左 |
| | 家賃を払っている者の限度額 | 27,000 円 | |
| | 支給実績 | 19,896 千円 | |
| 支給職員 1 人あたり平均支給額 | | 173,008 円 | 同左 |
| 交通機関利用者（実費）限度額 | | 50,000 円 | |
| 自動車等利用者（2 人以上） | | 2,000 円～20,400 円 | |
| 支給実績 | | 43,938 千円 | 同左 |
| 支給職員 1 人あたり平均支給額 | | 77,904 円 | |

⑧ 特別職の報酬などの状況（平成 18 年 4 月 1 日現在）

| 区分 | 給料（報酬）月額 | 期末手当（支給割合） |
|----|----------|--------------------------|
| 給料 | 市長 | 760,000 円 6 月期 2.125 月分 |
| | 助役 | 670,000 円 12 月期 2.325 月分 |
| | 収入役 | 613,000 円 計 4.450 月分 |
| 報酬 | 議長 | 404,000 円 6 月期 2.125 月分 |
| | 副議長 | 362,000 円 12 月期 2.325 月分 |
| | 議員 | 342,000 円 計 4.450 月分 |

平成 18 年 4 月 1 日から、特例により 3 役の給料月額、減額されています。

⑤ 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（平成 18 年 4 月 1 日現在）

| 区分 | 学歴 | 経験年数 10 年 | 経験年数 15 年 | 経験年数 20 年 |
|-------|-----|-----------|-----------|-----------|
| 一般行政職 | 大学卒 | 270,000 円 | 351,400 円 | 364,900 円 |
| | 高校卒 | 213,400 円 | 258,900 円 | 295,800 円 |
| 技能労務職 | 大学卒 | - 円 | - 円 | - 円 |
| | 高校卒 | - 円 | 224,900 円 | 224,500 円 |

⑥ 一般行政職の級別職員数の状況（平成 18 年 4 月 1 日現在）

| 区分 | 1 級 | 2 級 | 3 級 | 4 級 | 5 級 | 6 級 | 7 級 | 計 |
|-----------|-----|------|------|------|------|------|-----|-----|
| 標準的な職務の内容 | 主事 | 主任 | 主査 | 係長 | 課長補佐 | 課長 | 部長 | |
| 職員数 | 13 | 63 | 141 | 87 | 51 | 77 | 20 | 452 |
| 構成比 | 2.9 | 13.9 | 31.2 | 19.3 | 11.3 | 17.0 | 4.4 | 100 |

* 市給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
* 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な補職名です。

⑦ 職員手当の状況（平成 18 年 4 月 1 日現在）

| 区分 | 期末勤続手当 | 勤続手当 | 国の制度との比較 |
|---------------------|------------------|--------------------|----------|
| 6 月期（幹部職員） | 1.40 月分（1.20 月分） | 0.725 月分（0.925 月分） | 同左 |
| 12 月期（幹部職員） | 1.60 月分（1.40 月分） | 0.725 月分（0.925 月分） | |
| 計（幹部職員） | 3.00 月分（2.60 月分） | 1.45 月分（1.85 月分） | |
| 職制上の段階・職務の級等による加算措置 | 有 | | |

| 区分 | 自己都合 | 勤奨・定年 | 自己都合 | 勤奨・定年 |
|--------------|-------------------------|---------|---------|---------|
| 勤続 20 年 | 21.00 月 | 27.30 月 | 23.50 月 | 30.55 月 |
| 勤続 25 年 | 33.75 月 | 42.12 月 | 33.50 月 | 41.34 月 |
| 勤続 35 年 | 47.50 月 | 59.28 月 | 47.50 月 | 59.28 月 |
| 最高限度額 | 59.28 月 | 59.28 月 | 59.28 月 | 59.28 月 |
| その他加算措置 | 定年前早期退職特例措置（2～20 加算） 同左 | | | |
| 1 人当たりの平均支給額 | 12,208 千円 | | | |

| 時間外勤務手当（平成 17 年度） | |
|-------------------|------------|
| 支給総額 | 152,681 千円 |
| 1 人あたり支給年額 | 265 千円 |

2 職員の給与の状況

① 人件費の状況（普通会計決算）

| 区分 | 住民基本台帳人口（H17.3.31） | 歳出額 A（千円） | 人件費 B（千円） | 人件費率（B/A） |
|----------|--------------------|------------|-----------|-----------|
| 平成 17 年度 | 56,732 人 | 26,200,527 | 5,672,374 | 21.0% |

* 人件費には、市長、議員など特別職に支給される給料、報酬などを含んでいます。

② 職員給与の状況（一般会計予算、当初予算計上額）

| 区分 | 職員数 A | 給与費（千円） | | 1 人あたり給与費（B/A）（千円） |
|----------|-------|--------------|--------------|--------------------|
| | | 給料 | 職員手当 | |
| 平成 18 年度 | 718 人 | 2,704,970 千円 | 450,181 千円 | 5,899 千円 |
| | | 期末・勤続手当 | 1,080,763 千円 | |
| | | 計 B | 4,235,914 千円 | |

* 職員手当には、退職手当は含んでいません。

③ 職員の平均給料月額・平均給与月額及び平均年齢の状況（平成 18 年 4 月 1 日現在）

| 区分 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均年齢 |
|-------|-----------|-----------|----------|
| 一般行政職 | 329,700 円 | 380,800 円 | 42 歳 0 月 |
| 技能労務職 | 266,400 円 | 293,320 円 | 44 歳 6 月 |

④ 職員の初任給の状況（平成 18 年 4 月 1 日現在）

| 区分 | 恵那市 | | 国 | |
|-------|-------|---------------|-----------|---------------|
| | 決定初任給 | 採用 2 年経過日給料月額 | 決定初任給 | 採用 2 年経過日給料月額 |
| 一般行政職 | 大学卒 | 170,200 円 | 183,800 円 | 170,200 円 |
| | 高校卒 | 138,400 円 | 148,000 円 | 138,400 円 |

1 職員の任免および職員数に関する状況

① 職員採用の状況

| 区分 | 一般行政職 | 看護職 | 医師職 | 合計 |
|------------------|-------|-----|-----|-----|
| 平成 17 年 8 月 1 日付 | | 2 人 | | 2 人 |
| 平成 17 年 9 月 1 日付 | | | 1 人 | 1 人 |
| 平成 18 年 1 月 1 日付 | | 1 人 | | 1 人 |
| 平成 18 年 4 月 1 日付 | 2 人 | 2 人 | 1 人 | 4 人 |
| 採用者数計 | 2 人 | 5 人 | 1 人 | 8 人 |

* 一般行政職には、県教育委員会の割愛人事によるものを含みます。

② 職員の退職の状況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

| 退職の種類 | 定年退職 | 勤奨退職 | 普通退職 | 分限免職・懲戒免職・失職・死亡退職 | 合計 |
|-------|------|------|------|-------------------|------|
| 退職者数 | 6 人 | 9 人 | 21 人 | 懲戒 1 人 | 37 人 |

③ 部門別職員数の状況

| 部門 | 区分 | 職員数（人） | | 対前年増減数（人） |
|-------|------|---------|---------|-----------|
| | | 平成 17 年 | 平成 18 年 | |
| 一般行政 | 議会 | 6 | 6 | |
| | 総務 | 158 | 159 | 1 |
| | 税務 | 24 | 23 | 1 |
| | 労働 | | | |
| | 農林水産 | 43 | 41 | 2 |
| | 商工 | 9 | 13 | 4 |
| | 土木 | 56 | 45 | 11 |
| | 民生 | 150 | 146 | 4 |
| | 衛生 | 96 | 93 | 3 |
| | 計 | 542 | 526 | 16 |
| 特別行政 | 教育 | 108 | 93 | 15 |
| | 消防 | 84 | 83 | 1 |
| | 計 | 192 | 176 | 16 |
| 公営企業等 | 病院 | 96 | 92 | 4 |
| | 水道 | 20 | 23 | 3 |
| | 下水道 | 20 | 18 | 2 |
| | その他 | 98 | 104 | 6 |
| | 計 | 234 | 237 | 3 |
| 合計 | | 968 | 939 | 29 |

10月
から

障害福祉制度における「補装具費と日常生活用具」の制度が変わります

これまでの補装具給付制度と日常生活用具給付事業は、個別給付である補装具費と、地域生活支援事業による日常生活用具給付に再編されます。
問い合わせ 社会福祉課障害福祉係（内線 135・136）

補装具・日常生活用具について

| 種類 | 内容 |
|--------|---|
| 補装具 | 身体の欠損または体の機能の損傷を補い、日常生活または職業生活を容易にするために必要な用具で、身体障害者の能力を最大限にまで向上させ、社会復帰、社会参加のため重要なものです。義肢、装具、車いすなどがあります。 |
| 日常生活用具 | 日常生活上の便宜を図るための用具で、歩行支援用具、入浴補助用具、点字図書などがあります。 |

補装具の支給の仕組みが変わります

これまで、市から補装具の製作者に製作・修理を委託し、その費用を市が支払っていました。新しい仕組みでは、利用される方と事業者との契約により補装具を製作・修理します。費用については、利用者の申請に基づいて、補装具の購入・修理が必要と認められたときに、市がその費用（購入費・修理費）を利用者に支給する仕組みになります。

申請により支給決定、利用者の負担は定率に

補装具費の支給、日常生活用具の給付は、障害者または障害児の保護者からの申請に基づき、支給決定します。

利用者負担についても定率負担となり、1割を利用者が負担することになります。負担があまり多くならないように世帯の所得に応じて一定の月額負担上限額（右表）が設定されます。ただし一定所得以上の方は、支給対象となりません。（本人または世帯員のうち市町村民税の最多納税者の納税額が50万円以上ある場合）

補装具と日常生活用具の対象品目の見直し

補装具から日常生活用具に移行されるもの

点字器、人口咽喉頭、収尿器、ストマ用装具、歩行補助つえ（1本つえ）、頭部保護帽

補装具の対象でなくなるもの

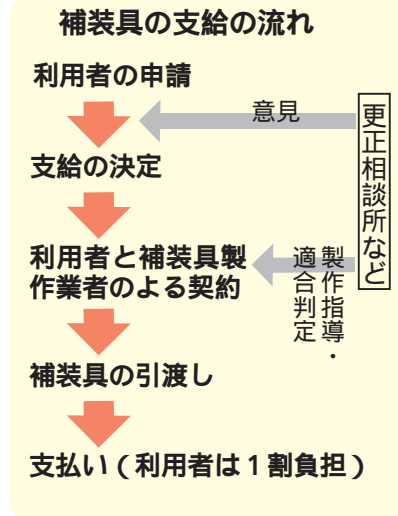
色眼鏡

日常生活用具から補装具に移行されるもの

重度障害者用意思伝達装置

日常生活用具の対象でなくなるもの

浴槽（湯沸し器）、パーソナルコンピュータ



月額負担上限額

| 世帯の区分 | 月額上限額 |
|------------------------------------|---------|
| 生活保護世帯の方 | 0円 |
| 市町村民税非課税世帯で年収が80万円以下（障害基礎年金2級相当）の方 | 15,000円 |
| 市町村民税非課税世帯の方 | 24,600円 |
| 市町村民税課税世帯の方 | 37,200円 |

10月
から

障がい者自立支援法による地域生活支援事業がはじまります

地域生活支援事業は、市が地域の実情にあわせ、障がい者の地域生活を支えるさまざまな事業で、事業の内容は市が決定します。
問い合わせ 社会福祉課障害福祉係（内線 135・136）

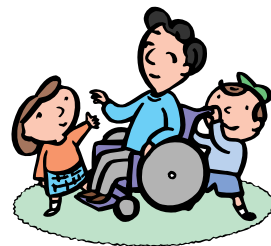
相談支援事業 = 障がい者や家族からの相談支援、情報の提供や助言、関係機関との連絡調整などを市が委託する相談支援事業者が実施します。恵那市では、18年4月から市役所内に福祉総合相談窓口として（毎週月曜日から金曜日午前9時から午後4時）

障がい相談専門員が障がいに関する相談に応じています。（☎ 26-2212）

コミュニケーション支援 = 手話通訳者、要約筆記者の派遣を行います。

移動支援事業 = 円滑に外出ができるよう、移動にかかる支援を行います。

その他 = 訪問入浴サービス事業などの事業を実施していきます。



4 職員の分限および懲戒処分の状況

①分限処分者
（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

| 区分 | 降任 | 免職 | 休職 | 降給 | 合計 | 失職 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|
| 勤務成績の不良 | - | - | - | - | - | - |
| 心身の故障 | - | - | 4人 | - | 4人 | - |
| 適格性の欠如 | - | - | - | - | - | - |
| 廃職過員 | - | - | - | - | - | - |
| 刑事事件に抛る起訴 | - | - | - | - | - | - |
| 欠格条項該当 | - | - | - | - | - | - |

②懲戒処分者
（平成17年度）

| 区分 | 免職 | 停職 | 減給 | 戒告 | 合計 |
|-----------------|----|----|----|----|----|
| 法令違反 | - | - | 2 | - | 2 |
| 職務上の義務違反または職務怠慢 | - | - | - | - | - |
| 非行行為 | 1 | - | - | - | 1 |
| 監督責任 | - | - | - | 3 | 3 |

5 職員の利益保護の状況

①公務災害の発生状況
（平成17年度）

| 区分 | 災害件数 |
|------------------------|------|
| 職務遂行中の負傷 | 4件 |
| 職務に伴う合理的行為又は準備・後始末中の負傷 | - |
| 出張中の負傷 | - |
| 福利厚生事業参加中の負傷 | - |
| その他の行為中の負傷 | - |
| 通勤災害 | - |

②措置要求および不服申し立ての発生状況
（平成17年度）

| 区分 | 前年度未処理件数 | 要求及び申し立て件数 | 処理件数 | 本年度未処理件数 |
|--------|----------|------------|------|----------|
| 措置要求 | 給与 | - | - | - |
| | 勤務時間・休暇 | - | - | - |
| | その他の勤務条件 | - | - | - |
| 不服申し立て | 分限処分 | - | - | - |
| | 懲戒処分 | - | 1 | 1 |
| | 転任 | - | - | - |
| その他 | - | - | - | - |

3 職員の勤務時間、その他の勤務条件

①職員の勤務時間（標準的なもの）

| 1週間の勤務時間 | 開始時間 | 終了時間 | 休憩時間 | 休憩時間 |
|----------|------|-------|-----------|-------------|
| 40時間 | 8:30 | 17:15 | 午前・午後15分間 | 12:15～13:00 |

平成18年10月1日から休憩時間は、廃止されます。

②年次有給休暇の取得状況
（平成17年1月1日～12月31日）

| 総付与日数 | 総使用日数 | 全対象職員数 | 平均使用日数 | 消化率 |
|---------|--------|--------|--------|-------|
| 36,328日 | 7,313日 | 951人 | 8.0日 | 20.1% |

③その他の休暇制度

| 事由 | 期間 |
|-----------|-----------------------------|
| 選挙権行使 | 必要と認められる期間 |
| 証人など | 必要と認められる期間 |
| 骨髄液の提供 | 必要と認められる期間 |
| ボランティア活動 | 5日以内（分割可） |
| 結婚 | 連続する7日以内 |
| 産前 | 出産日までの申し出た期間（6週間以内） |
| 産後 | 出産日の翌日から8週間 |
| 授乳 | 1日2回、各30分以内 |
| 妊婦の通勤 | 1日のうち1時間 |
| 妊婦の健診 | 必要と認められる期間 |
| 配偶者の出産 | 2日以内（時間単位で分割可） |
| 男性職員の育児参加 | 5日以内（時間単位で分割可） |
| 忌引 | 親族区分に応じ1～7日 |
| 家族の法要 | 法要当日1日以内 |
| 夏期 | 連続する4日以内 |
| 住居の破壊 | 必要と認められる期間（最長7日） |
| 交通機関の事故など | 必要と認められる期間 |
| 交通遮断 | 必要と認められる期間 |
| 子の看護 | 1暦年において5日の範囲内の期間（時間単位の取得も可） |

④育児休業の状況
（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

| | 平成17年度中に新たに育児休業の取得が可能なもの | 平成17年度中に新たに育児休業を取得したもの | 前年度から引き続き育児休業を取得しているもの |
|----|--------------------------|------------------------|------------------------|
| 男性 | 27人 | 0人 | 0人 |
| 女性 | 12人 | 12人 | 16人 |